

東南アジアとの絆

岡山県訪問団の成果

▷▷4

内戦の傷跡

をすることがわれわれの役割」。同会の村田みつお代表は言う。

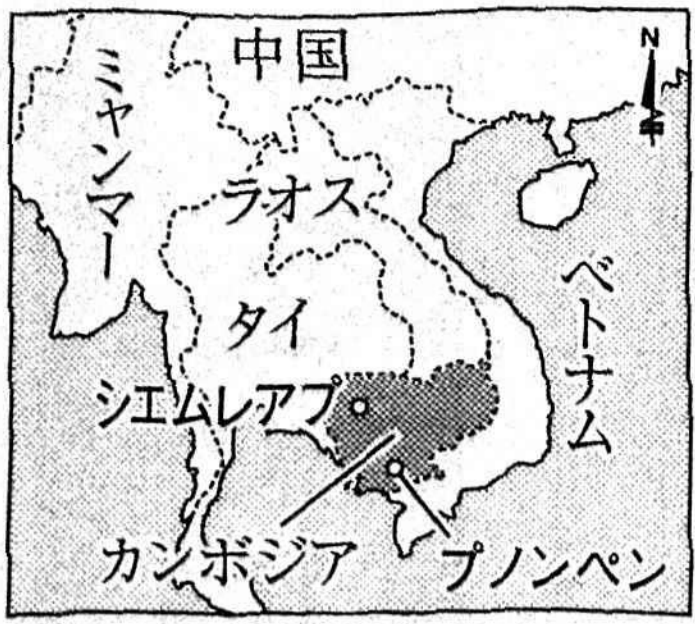
世界遺産・アンコール

ワットがあるカンボジア北部のシエムレアプ州。

幹線道路から脇道に入り、密林のどこぼこ道を進んだ先に、目指す農地はあった。

倉敷市のNGO（非政府組織）「カンボジアの村を支援する会」が二〇〇一年一月に造った「自立支援センター」。約七

畝を開墾。地雷に触れて障害を負った人、エイズ患者とその家族、仕事がなく貧困にあえぐ人など



地域発の貢献

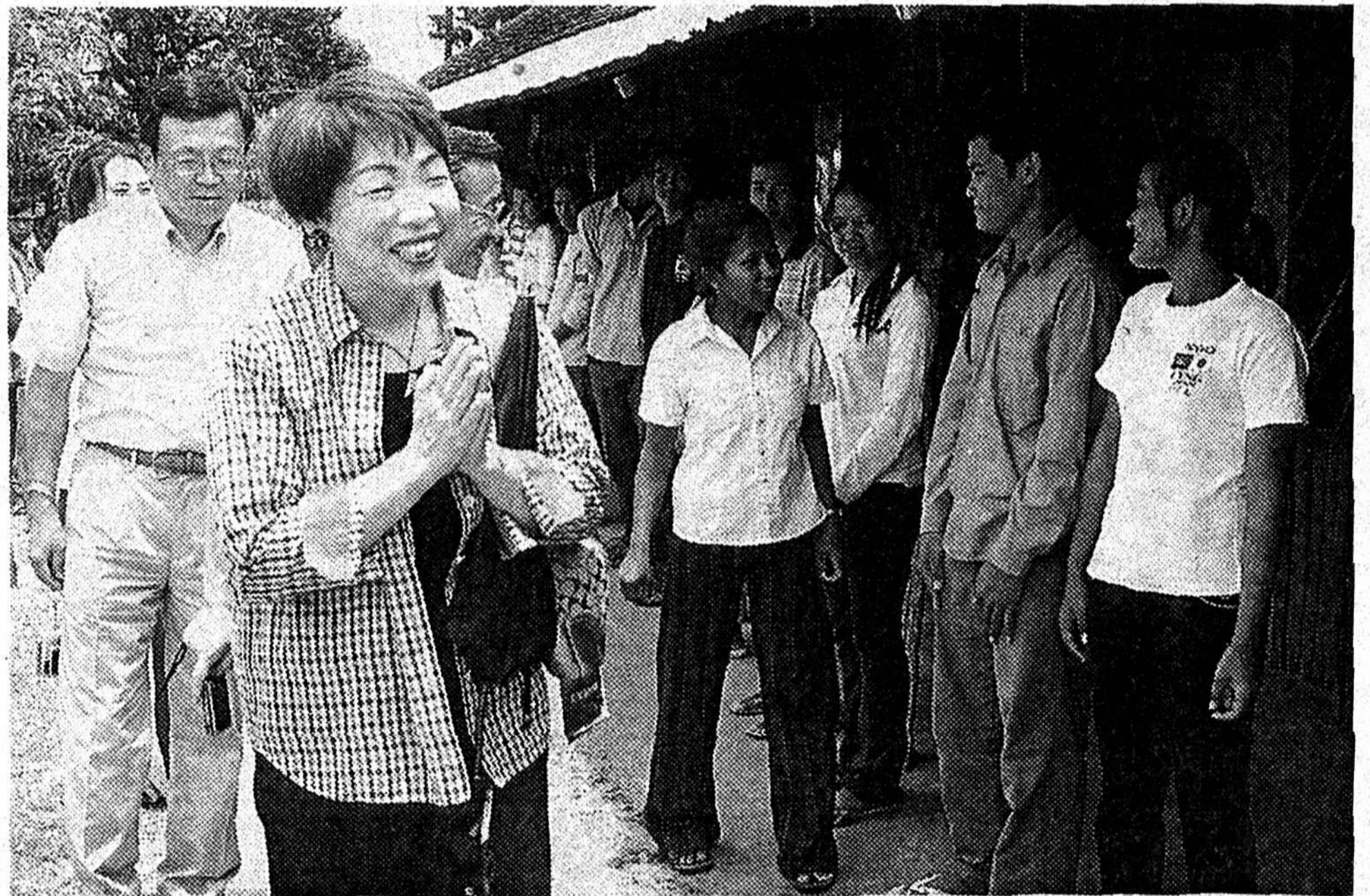
(カンボジア)

を受け入れ、約二百五十人が集団生活する。農業知識の豊富なカンボジア人スタッフ四人が、マンゴーやカボチャなど約十種類の果物、野菜づくりを指導。自給自足して、余った野菜や果物を街で売る。

入所者には二十五ドルと公務員並みの月給もある。半年ほど前に入所した男性(三六)は「ここでは希望を持って暮らすことが出来る」。ある程度自活する力をつければ「卒業」。自立の道を模索する仕組みも整えた。

「一人でも多くの人自立できるように、手伝い

力を結集し自立支援



自立支援センターを視察する訪問団＝カンボジア・シエムレアプ州

イ・AMD A（本部・岡山市、菅波茂理事長）。増え続けるエイズ感染の予防啓発を続け、市内ではカンボジア支部に所属する医師らが診療に当たる。岡山県は十月、産学官連携組織「岡山発国際貢献推進協議会」を発足させる。会長に就任する予定の石井正弘知事は「NGOをはじめ、企業や各

連携組織発足へ

二〇〇〇年代に入ってから5-7%の経済成長を維持。ようやく社会全体が安定感を取り戻しつつある。岡山県は十月、産学官連携組織「岡山発国際貢献推進協議会」を発足させる。会長に就任する予定の石井正弘知事は「NGOをはじめ、企業や各

うやく社会全体が安定感を取り戻しつつある。岡山県は十月、産学官連携組織「岡山発国際貢献推進協議会」を発足させる。会長に就任する予定の石井正弘知事は「NGOをはじめ、企業や各

AMD Aのカンボジア支部では診療所を訪れる人たちにわずかながら治療費の請求を始めた。治

療には費用がかかることを知ってもらうことから始めている」と、同支部のシエン・リテイ支部長は説明する。「外国企業を受け入れる環境が整ってきた。岡山企業にもぜひ来てほしい」とは、カンボジアの国会議員で同国最大企業・MRTグループのモーン・リテイ会長。日本に求めるものも変わろうとしている。

南アジアの中でも経済復興の遅れている地域の一つだ。立ち上がろうとしているこの国を支援する日本

のNGOは五十一団体にも及ぶ。政府開発援助(O D A)で賄いきれない、さまざまな分野で手を差し伸べる。岡山の団体も、それ